

新・すこやか未来アクションプラン第2期計画(令和2年度~令和6年度)に基づき、総合的な子ども・子育て支援施策のさらなる推進

課題認識

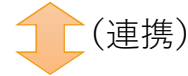
- 行政と医療機関・民間事業者との情報連携が不十分
- リスクを抱えた妊婦の増加
- 困難事例への対応の必要性

- 児童虐待相談件数の増加
- 社会的養育の充実
- 地域における支援の強化

- 保育ニーズの多様化
- 幼保無償化による制度の複雑化
- 多岐に渡る保育サービスへの理解

妊娠・子育てほっとステーション支援強化

- 各地区の子育て関係機関(医療機関・民間事業所等)との連携強化
 - 困難事例への相談支援強化
- ⇒各区妊娠・子育てほっとステーションで子育て関連機関をメンバーに加えた検討会等を実施



子ども家庭総合支援拠点の整備

- 子ども家庭支援全般にかかる実情の把握、情報の提供、相談対応
- 要支援・要保護児童や出産前から福祉的支援を要する特定妊婦への個別支援

【人員】子ども家庭支援員・虐待対応専門員



保育コンシェルジュの配置

- 保育サービスに関する情報提供・円滑な利用に向けての支援
- 専門スタッフによる子育て世帯に寄り添った丁寧な支援

【人員】利用者支援専門員

期待される効果

- 家庭の状況に応じた適切な保育サービスとのマッチング
- リスクのある家庭の早期発見とケア
- 妊娠・出産・産後・子育て期にわたる切れ目のない支援のさらなる強化